

高校生に向けて創生学部をアピールするとして、あなたならどのような点をまず伝えたいと思いますか？（2023年度卒業生アンケート）

- ・ 創生学部はチャンスではあるが、そのチャンスをもにすることはあなたのこだわり次第だと思います。
- ・ 総合大学として選択肢はあるので、確固たる自分のやりたい軸を持っている人にはオススメ。
- ・ フィールドスタディーズが1年である点は高校生にとっても魅力的だと思います。
- ・ 創生学部は自分が学びを選択出来る。
- ・ どんな勉強をしたいか迷っているならとりあえず創生学部に入學すればいいと思います。
- ・ 入学後に深掘りしたい専門分野を定めることができるのは創生学部の特権。
- ・ 多様な学生が存在する点。
- ・ 創生学部でしかできない体験がある。
- ・ 自分の軸を明確にできる点。理由としては、学部全体として、迷っても良い期間を与えられているのが特徴であり、その期間にもがく中で、自分の軸を明確にできたと考えている（結果論ではあるが）。
- ・ やりたい事がありすぎる人、これから探したい人は創生学部でまずは2年間学んでみてください。様々な学問分野や社会課題に触れていくという過程で自分自身のやりたい事や得意な事が見えてくると思います。そこからは自分の個性を貫いてください。その先に唯一無二の存在である自分がいます。
- ・ 異分野の学問を学んでる人が同じゼミに所属することもあり、それが他の学部にはない良いところ。
- ・ 自分のやりたいことを考えられる。
- ・ 専門分野を後から好きに選んで学べる学部というよりは、課題解決能力や企画推進力、コミュニケーション能力を学ぶためにいろんな分野に触れたり、変わった経験ができる学部。
- ・ 積極的に行動できる学生が多く集まるので、自分もそうなりたい、そのような人と活動したいと思う人にはもってこいの学部。
- ・ 自分と異なる価値観や考え方の学生と出会い、刺激し合える点。
- ・ 自由に自分の興味のある分野を学べる点。
- ・ リベラルアーツの学びが実現できる学部。
- ・ 自分の興味を追求できるところ。専門分野の確定が大学1年次の末で、約1年間自分が何に興味があるのかを考える猶予期間があるところ。
- ・ 新潟大学の中で挑戦したいことに最も自由に取り組める学部であり、そして挑戦したことが決して無駄にならない学部。
- ・ 分野を横断した学修により、複数の学問領域を組み合わせる理解することができるという

う点。例えば農業を学ぶとき、自然科学的に解釈することもできるし、人間との関わりや文化的背景というように社会科学な解釈をすることもできる。自分の計画次第で同じものを多様な側面から知ることができ、思考の幅が拡大する。

- ・ 色々な考え方をを持った面白い人に出会えること！
- ・ 自主性が磨かれる。ここは他学部より光る点と思います。
- ・ 一つの学問に縛られないで自由に学びを深めることができる点。
- ・ 自分で自分のキャリアを創り出すといった創生学部の掲げるポリシーに賛同できる人には強くお勧め。
- ・ 留学や卒論、日々の授業など全てを含め、自分の学びをデザインできる。
- ・ 選択したパッケージと全く異なる分野の研究を行うことができるので、本当にしたい研究をできる。
- ・ 自分のペースで学べる。
- ・ 本当に学びたいことを考えられる点。オープンな学部。
- ・ 学部が決められない、学部で何を学ぶのかよく分からない人でも、基礎的な分野ごとの学修をした上で進路を自分で決められる。
- ・ 他学部では無い交流の多さが魅力。コミュニケーション力は社会に出る時に絶対に必要なので。
- ・ 学びたいこと、なりたい姿がある人に向いている学部。
- ・ 基礎ゼミやソリューションゼミなどを通して様々なことに興味がある学生と関わることができ、自分の興味の幅が広がる点。
- ・ やる気がある人がやりたいことを出来る学部。
- ・ 2年次に専門分野を選択できる点。
- ・ 多方面への実践力が身につく。